



桑の緑

小坂小学校 学校便り
令和3年9月15日
文責：校長 江上 知男

「みんなで協力し合い 心をひとつに 笑顔あふれる運動会」

これは、子どもたちが代表委員会を通して決めた「運動会スローガン」です。コロナ禍の中、「みんなで気持ちを合わせて運動会を作り上げたい」という思いがこもった素晴らしいスローガンだと思います。スローガンは、同時に「行動目標」でもありますので、これから子どもたち同士が、そして教師がこの言葉を使って取組を評価していくことになります。



決意を述べる応援団長

9月14日(火)には、運動会結団式を実施しました。残念ながらコロナ禍で全校児童が集まらず、音楽室から各教室に配信する形式で行いました。赤白の応援団長や団員からは、「相手の団に勝ちたい」という思いと「スローガンのような運動会にしたい」という強い思いが伝わってきました。応援団のリーダーや6年生を始めとする子どもたちの「はまり」に期待したいと思います。

全国学力・学習状況調査について

子どもたちへの教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるため、2年ぶりの調査が5月に実施され、本校を含む全国の6年生が受けました。8月末に結果が公表され、現在学校として分析を進めているところです。個人票については、先日6年生に配付させていただきました。

<学校教育目標>

気付き、考え、行動する小坂っ子の 育成

- 粘り強く取り組み、確実に身につける子ども【根気】
- 自分で考え、積極的に表現・行動できる子ども【創造】
- まわりの人を大切にし、共に伸びようとする子ども【共生】

	質問事項	肯定の割合	全国との比較
根気	自分でやると決めたことは、やり遂げる	89.5	+5.2
	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	63.2	-7.7
創造	家で自分で計画を立てて勉強をしている	76.3	+2.3
	自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表す	65.8	-4.5
共生	人が困っているときは、進んで助けている	89.5	+0.8
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	89.5	-7.3

ところで、本校の学校教育目標をわかりやすくしたものが、【根気】【創造】【共生】という「力」なのですが、状況調査の中にある「それに合う質問項目」を分析してみると、日頃の子どもたちの姿と重なって見えてきました。

左表から、**全国平均を超えている項目**の結果から、6年生に限らず本校職員が普段から感じている「物事に一生懸命取り組む子どもが多いこと」や

「人に優しい子どもが多いこと」と重なります。「人に優しいこと」は、何より貴重なことだと思います。

一方、**全国平均に届いていない項目**の結果から、これも普段から感じている「自分の考えや気持ちを伝えるのが苦手な子どもがやや多いこと」や「人の目を気にして力を発揮できない子どもがやや多いこと」と重なります。また、「いじめに『やっついている理由』はない」ことを認識させることは、学校総体で取り組むべきことです。分析結果を、今後の学校運営に活かしていきます。

「虫育て」に夢中です！

1年生が生活科で「身の回りの生き物」…すなわち昆虫を育てています。休み時間は雨でも運動場で「えさ取り」です。1年生教室では、何人も虫かごを見せて解説してくれます。「死んじゃった」とガッカリする子もいます。子どもたちの表情を見て、真の「いのちの学習」だと感動しています。



虫かごの中